

笑顔でみんなで子育てを②

子どもを見る人がいない！ こんなときありませんか？



十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員によるコーナーです

「ゆっパル」の由来
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

共働きの世帯が増加しています

子育て中のパパ・ママ、楽しく、元気に子どもと一緒に成長していますか。

現在、共働き世帯が増加しており、平成19年から、全国で1千万世帯を超えています（男女共同参画白書より）。

さまざまな子育て支援を活用しましょう

十和田市では、就労と育児の両立を支援するため、さまざまな取り組みが行われています。託児などの子育て支援を相談

にに応じて対応してくれる十和田ファミリー・サポート・センターやシルバー人材センター、各保育園でも開所時間を延長したり、緊急時など一時的に子どもを預かるなどの支援を行っています。

今回のゆっパルでは、県内でも珍しい取り組みである病院と

●●ゆっパルs'インタビュー●●

今回は、発熱など病気の急性期・回復期などのお子さんを預かる十和田東病院「病児・病後児保育所里の森」(市委託事業)にお邪魔しました♪

十和田東病院「病児・病後児保育所里の森」

対象年齢 乳児～小学3年生
利用時間(予約制)
月～金曜日 7:30～17:00
第1・2・4土曜日 7:30～13:00
定員 1日4人
※費用など詳しくはお問い合わせください。
▲看板が目印♪東病院敷地内にあります 里の森 ☎ 5252

🌸 お話を伺った里の森のスタッフの皆さん



(写真左から) 豊川 早香さん(保育士) 工藤 政子さん(保育士)、木村 尚子さん(看護師)

Q 利用する場合、どのような手続きが必要ですか？

里の森を利用するときは、まずは電話で予約してください。初回は登録をしていただきます。受付後、東病院で診察もしくは医師の面談を受け、そこで、当日の利用の可否を決定します。

かかりつけ医が東病院以外の場合も利用できます。利用の際は、飲んでる薬を全て持ってきてもらい、東病院の医師に面談してもらいます。持参していただいた薬だけで大丈夫と医師が判断した場合は、診察料は発生しません。ただし、いざ病状が変わったときのため、東病院でカルテを作ることは了承いただいております。※保育料などの費用は別途がかかります。

Q どのような病状のお子さんが利用されていますか？

病気のなりはじめで具合の悪いお子さんと、回復期のお子さんをお預りしています。他に小さな子供の面倒を見なくてはいけない、

Q お昼ごはんやおやつはどちらで提供されているのですか？

お子さんに合わせたメニューを提供しています。親御さんに直接、食事の写真を見せて確認してもらっています。

Q 今まで親御さんに喜ばれたサービスマンエピソードは？

お迎えに来た親御さんが育児の悩みなどをわたしたちに話して「ここに来るとホッとする」と、帰られることもあります。薬の飲ませ方など育児についての手作りパンフレットも喜ばれています。

Q スタッフの皆さんがやりがいを感じる瞬間は？

やはり子供さんが元気になって

子育ての悩みを共有しましょう

ここで紹介する里の森では、保育士や看護師が育児に悩むかたの話を聞いています。子育ては悩みがつきものです。子育てに悩んでいるかたを周囲の皆さんで支え合っていきたいですね。

▼子育て支援についてはコチラ
問福社課 ☎ 6716



「さんかく日和」その4

Akemi.N



🌸 編集後記

以前より共働き夫婦の増加によってか、病児を預けることができる施設ができ、安心できる暮らしになってきていますね。(K)
子育て中の母親が働き続けるためには、社会全体の理解と応援が必要です。まずは自分の家庭と職場から…ですね。(N)
親にかわって病児を見てもらえると安心ですね。そんな場所がもっと増えるといいですね。(F)

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル
編集委員 木村奈生美、中野渡明美、深谷淳子、吉崎友恵
イラスト 中野渡明美
発行 総務課広報男女参画係 ☎ 6702